会 議 結 果 報 告 書

令和４年５月２６日

会議の名称	令和４年度 第１回志木市廃棄物減量化資源化等推進審議会
開 催 日 時	令和４年５月２３日（月）１０時００分～１１時００分
開 催 場 所	市役所　第２庁舎　会議室４，５
出 席 委 員 及 び 関 係 機 関	大村相哲会長、清水賢三副会長、田中源雄委員、山口秀子委員、 時田英司委員、関根正男委員、内野由浩委員、近藤豊委員 （計　８人）
欠 席 委 員	なし　（計　０人）
説　明　員	清水主席主幹　（計　１人）
議　　題	（１）志木市一般廃棄物処理基本計画（第３次）の策定について （２）今後のスケジュールについて （３）その他
結　　果	審議内容の記録のとおり　（傍聴者　０人）
事務局職員	松井俊之市民生活部長、末永隆宏環境推進課長、増田一男副課長、 清水義博主席主幹
署　　名	（議　長）…… （署名人）……

審 議 内 容 の 記 録 （ 審 議 経 過 、 結 論 等 ）

１　開会
２　職員自己紹介
３　委員自己紹介
４　会長あいさつ
５　署名委員の選定　議長、田中委員
６　議事
（１）について
説明員）資料に基づき説明。
副会長）７月諮問で、答申はいつでしたか。
事務局）答申は１０月を予定している。
委員）４市に比べ志木市は、ごみ処理費用が高いのか、低いのか。
事務局）今、手持ち資料がないのでわからない。

会長）ごみについては、４市の括りではなく、志木市は富士見市、新座市と３市で比較するほうがいいかと。ちなみに朝霞市と和光市は１０年後を目指して２市でごみ処理場を整備していくようである。
委員）ごみのコンテナが重く、運ぶのが大変という苦情を結構聞く。単身高齢者は個別に回収してもらえるとも聞いたが詳細を聞きたい。
委員）うちの町内会では折畳み式に変えている。軽量化されており結構使える。
委員）耐久性に問題があるようだが。
事務局）ごみかごを折畳み式にした経緯は、やはり重量の問題。確かに一長一短はあり耐久性不足は否めないが一番の目的は軽量化であった。そして高齢者ごみ戸別収集は、一定の年齢以上のごみ出しが困難な高齢者等に市が直接回収するための制度を始めた。なるべく柔軟な対応していきたいので、該当しそうな方がいたら相談にのる。
委員）今回の計画策定にコンサルは入るのか。
事務局）コンサルは入らない。自前で作る。環境推進課で骨子案を作成し審議会の皆様にもんでもらう。印刷製本費のみ予算措置している。
委員）コンサルが入らないのは大変だ。10 月までに計画案ができるのか心配だ。
事務局）自前かつ短時間だがしっかりしたものをお示しする。
会長）皆さんで協力してよいものを作りたい。
会長）前回計画の目次と資料１を見比べると、人口、ごみ排出量など新たな項目が増えている。前よりバージョンアップされている。計画の対象外かもしれないが、焼却灰の埋め立て処理等まで含めてはどうか。
事務局）焼却灰の資源化も含め、計画を作りたい。
委員）P6 理念の中で「買わない」という表現はやめたほうが良い。分別が徹底されている。買わないという文言は企業にマイナスになる。
会長）主語が「ごみになる」となっている。P7 の４R にかかっており、志木市が４R にこだわっていることから、リフューズ、排出抑制が大事になる。外国人も増え分別もできていない現状もあることから、全市民に PR する必要はある。ごみになるものは、買わないという理解でよろしいかと。
委員）過剰包装の問題もある。過剰な包装はやめたほうがいい。
委員）外国は分別しておらず、海外の古紙は汚い。
事務局）本日の議論を踏まえ、骨子案をしっかりと作っていきたい。
会長）次に、（２）今後のスケジュールについて、
説明員）今後に流れを確認後、前回会議（書面開催）での委員からの意見に対する回答を説明。
委員）７月下旬だと新庁舎への引越のタイミングと被らないか。
事務局）引越は７月中旬の３連休なので、次回会議は新庁舎で行う。
副会長）次回７月までに骨子案を作成とのことだが、少なくとも会議一週間前には資料を提示していただきたい。その場で見せられても吟味するのは難しい。
事務局）承知。
７　閉会
　次回会議　令和４年度第２回会議　令和４年７月下旬を予定する。
副会長）閉会のあいさつ

以　上